

第4回懇談会における配置計画（案）にかかる主な意見

配置計画（案）（ゾーニングイメージ含む）について

*屋外プールの配置について

○現在の杉並第一小学校のプールはすごく寒い。建物に囲まれたら、もっと寒くなると思うので、屋内温水プールにするのがよい。

○経費との関係があるかもしれないが、これから先の教育環境として考えるならば、使用期間も広がるし、温水プール以外はありえない。

○区民プールを廃止することからも、プールを温水化して区民に開放していくのが、複合化による施設づくりだと考える。

○杉並第十小学校が温水プールとして区民に開放しているが、同じようなシステムを取り入れることが考えられるのではないか。

○天空の屋外プールが教育的な観点から相応しいということがあると思うので、教育委員会から考え方を明確に示していただき検討したい。

*校庭の配置について

○4階の建物の上に校庭を設置し、広さを確保するといっても、空間認識というのも大切なことであり、子どもたちが思い切り活動できるか疑問である。

○屋上校庭で高い防球ネットを整備するにしても、現在の少年野球はできなくなるとし、風の強さということも懸念される。

○校庭はただ広くなればよいということではなく、例えば、現在の運動会では、教室やトイレなど、校舎も活用しながら実施しており、屋上校庭での運動会を想定したときに、単に広くなったと言えない面がある。

○校庭で遊んでいる児童を先生が見ていることが基本なので、屋上校庭の場合は、先生が見守れないエリアと考えた時、安全管理の視点でも不安材料がある。

○教育現場が複合化されることは良いとしても、子どもたちの学びの場は、地に足を付けてできる1階の運動場が良いと思う。

○地域と密着した行事に必要な機材の搬入や、地域の防災拠点であることなどを総合的に考える必要があり、屋上に校庭を設置して広くなればよいとはならない。

○屋上校庭で多目的な活動を行うとした場合、機材を搬入するエレベータなどの搬入路など想定していると思われるが、運用の際に、実際に運び上げることができないなどとならないよう、考えておく必要がある。

○校庭を広くとるためのC案があるが、校庭の機能は運動だけではなく、緊急時に子どもたちが一旦避難する場であり、人数を掌握する場所でもある。火災発生時など、子どもたちが集まって人員点呼する場所がなくなってしまうことが課題である。

○この地域は火災危険度が高い地域であり、校庭が地面にあるということは消防活動上有効である。近隣の神社が消防活動の拠点と成りえるならば可能性は広がるが、そういう点も意識して考える必要がある。

*施設のゾーニング等について

○地下化が想定された計画であるので、体育館の位置や屋内プール化なども含め、効率的な仕様を考え、中杉通り側、北側に配置する諸室などの工夫を行えば、建物全体の階層を低くするなどが可能と思われる。

○ホールを活用したジュニアバンドの練習を想定し、音楽室機能を拡充する計画であるが、活動児童が増えている中では、楽器を固定的に置いておける音楽室機能となるとよい。

○A・B案とも、ホールが最上階に設置する案となっているが、利用者がそこまで上がっていくかと考えたときに、それが有効な活用につなげられるかという視点も必要である。

○小学校の体育館は小さく、地域のイベント、講演会、音楽会などを想定した時に、体育館を大きく造って活用していくという発想があってもよいのではないか。

○20年くらい前になるが、阿佐ヶ谷駅前に大ホールをという話も出ていた。学校教育環境の充実に加えて、多目的に地域の文化活動にもつながるような広さが確保できたらよい。

○ホール機能を持つ体育館を造るという発想もあると思うが、駅前で立地条件がよいとなれば、稼働率も高くなり、一団体が使用すれば他が使えない状態となる。ホールを設置するという計画なので、学校の音楽教育にも有効に活用できることを担保した上で、それとは別に体育館の機能を考えればよい。

○ホールを上層階に設置した場合、施設の中を通過して行くことになるので、位置を再考し、ホールの使いやすさという点で、全体の動線を考えた配置とするのがよい。

○B案では、普通教室のフロアが3～6階になっているが、非常時の避難を考えた場合に、低学年の児童が3階から避難することは保護者として不安を感じる。管理室・職員室エリアと入れ替え、普通教室を2階部分からとしたほうがよい。

○杉並第一小学校の児童が社会に巣立って、杉並区に住み続け、結婚して家族を増やし、納税していくということが区の将来には必要なこと。校舎が新しくなると子どもたちが増えると考えられるので、そのためにも、普通教室は18教室必要だと考える。

○示された3案を考えたときに、校庭を屋上にするのか、今までどおり狭くてもいいから地上に設置するのかで建物が変わってくる。教室数も含め、機能を入れ込んで行くことになればC案ということになっていく。A・B案とC案に大別できるので、それで考えをまとめていくことが必要だと思う。

○学校現場としては、子どもたちが上下に大きく動くという点では、緊急時にデメリットが大きい。低学年が移動に時間を要するという事は安全管理上難しい面があり、低学年の普通教室は低い階層が望ましい。

○体育館やホールは、ジャズストリートのパブリック会場となるので、それを考えるとあまり大きく動かさないほうがよい。

○駐車場の位置が3案とも阿佐ヶ谷駅側から入り、東側道路からの出入りとなっているので、このエリアの交通動線とも関わることなので再検討した方がよいと思う。

○屋上校庭のC案は、学校との複合によるこの施設は何かと考えた場合に、その中心に体育館とホールを置くことにより、子どもたちと区民が集まる場所が施設の真ん中にある学校といえる。